富山県リハビリテーション病院・こども支援センター News

Step（ステップ） by（バイ） Step（ステップ）

2017.1 1周年記念号

富山県リハビリテーション病院・こども支援センター
〒931-8517 富山県富山市下飯野36番地
TEL(076)438-2233(代)　FAX(076)437-5390
http://www.toyama-reha.or.jp

年頭の挨拶

院長　橋本 二美男

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

平成29年を迎え、富山県リハビリテーション病院・こども支援センターでは、「だれもが、その人らしく暮らせる『共生社会』を目指し、総合的なリハビリテーションを推進し、地域社会に貢献します」の理念のもと、患者さんの権利を尊重し、当院での基本方針を達成するため、職員一同新たな気持ちで努力してまいります。

当院は平成28年1月1日開院から2年目に入り、3施設統合後の意識改革、一体的運営、電子カルテの運用開始、回復期リハビリ病棟6単位以上の実施、専門外来の拡充、こどもセンターの利用拡大、医療安全、感染管理の徹底など多くの課題に取り組んできました。外来や病棟、入所などでの混乱もなくおおむね順調に経過しています。

歯科の常設により、標榜6科（小児科は小児整形外科と小児神経科に再編）となり、病床数202床で100床は回復期リハビリ病棟、52床は障害児の入所、50床は一般病棟で専門的な医療、断らない受入れ体制をとっています。回復期リハビリ病棟では365日リハビリを実施しており、8月からは患者さん1人1日あたり6単位（120分）以上のリハビリを安定的に提供できる体制が整い、「リハビリ充実加算」を算定できるようになりました。リハビリ専門医3名体制で在院日数も70日近くまで短縮し、入院待機日数も10日の目標に近づきつつあり、FIM（機能的自立度評価）の改善点数も全国平均を大きく上回り、当面の目標を25点以上としています。

こども支援センターでは入所のほかレスパイトやショートの利用者が増加傾向にあり、地域生活支援機能の強化につなげています。療育サービスの向上、発達障害児・者支援の充実にも努めています。4月には小児科医1名を増員し、小児神経分野の拡充、機能強化を図っています。

一般病棟では神経難病の治療、1・5次救急患者の受入れ、社会的支援の観点から適応を拡げた患者さんの受入れなど独自の医療サービスを提供しています。救急搬送は大腿骨頸部骨折、脊椎圧迫骨折で動けない患者さんが大半で、手術に至った例が58例です。手術件数も年間300例になりスタッフのスキルアップもあり、今後は手外科医2名で手足の外傷も受け入れたいと考えています。リウマチ、人工股関節、人工膝関節も得意とする整形外科医も活躍しています。

平成29年1月からは新たに神経内科医1名が加わり、神経難病のセンターとしての機能向上につながることが期待されます。内科医も1名増え、甲状腺疾患の治療や生活習慣病とりわけ糖尿病の治療に大きく貢献できると思います。

その他、「口腔ケアチーム」による口腔衛生の改善・肺炎予防、「退院後在宅訪問」に取り組み、退院後に安心して在宅で過ごせるように支援しています。日常生活で大きな制約となる排尿については「排尿ケアチーム」を作り早期退院、寝たきり減少につながるように排尿自立指導を今年から実施する方向で準備しています。

今後とも、「障害者」をキーワードにこどもから高齢者まで良質な医療・福祉サービスの提供に努め、全国有数の施設となるよう目指してまいります。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

平成29年度グランドオープン予定！

富山県リハビリテーション病院・こども支援センター

高志訪問看護ステーション

「高志訪問看護ステーション」は、障害者(児)の医療に詳しい看護師とリハスタッフ(PT/OT/ST)が、在宅で生活する療養者の生活支援と訓練を行っています。また、24時間365日緊急時に相談・対応できる体制をとり、安心して楽しく生活ができるよう支援しています。訪問地域は、県内全域としていますが、現在はステーションを起点に半径15km以内、且つ移動時間が30分以内とし、曜日限定の訪問リハは、富山市に加え、新川地区、高岡地区へ訪問しています。

外来・通所リハビリテーション科

平成29年1月より短時間通所リハビリを始めました。当院では、安心して在宅生活を過ごせるよう日常の「活動」や地域の中への「参加」ができるように生活期のリハビリテーションとして「通所リハビリテーション(デイケア)」を行います。

「自立と社会参加」の観念に基づき、リハビリテーションの先には生活があることを念頭に置きながら、患者さんの「リハビリを頑張って、こんなことができるようになりたい！」という思いを支援します。

富山県高次脳機能障害者支援センター

脳卒中や交通事故等で脳が損傷され、注意集中力や記憶力の低下等の認知機能に障害が起こることを「高次脳機能障害」といいます。手足の麻痺と異なり外見からはわかりにくく、見えない障害ともいわれています。そのため周囲の理解を得られにくく、ご本人やご家族はその変化に戸惑い、思い悩みます。

そのような方の支援を行うために、平成19年1月に富山県高次脳機能障害支援センターが開設されました。当センターでは、高次脳機能障害の診断・評価を行い、必要に応じてリハビリテーションを行っています。また、関係機関と連携・協同し、生活支援、復学・復職支援等も行っています。

早期の診断や状況に合わせた対応がお勧めとなりますので、お気軽にご相談ください。

地域リハビリテーション総合支援センター

平成28年10月19日、旧富山県高志リハビリテーション病院1階に開所しました！

富山県リハビリテーション支援センター

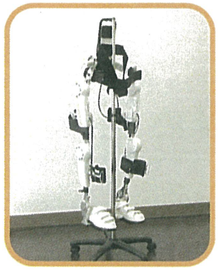
住み慣れた地域で、生き生きとした生活が送れるよう、地域リハビリテーション活動を支援しています。県内の地域リハビリテーション広域支援センター等と連携して「病院 - 在宅連携に関する調査」を実施中。平成28年11月5日、「超高齢社会に向けて〜にこにこ100歳をめざす〜」をテーマに県民公開講座(介護落語・海老名香葉子講演会)を開催しました。

人材育成課

空間を共有しているだけで、現状では地域に何も発信できていません。将来的には、県内のリハビリテーションの人材育成の一翼を担えるよう、院内の人材育成システムの構築とその運用のため、日々活動中の人材育成課です。

先端リハビリテーション課

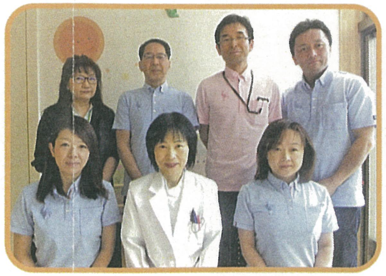
近年、多くのリハビリテーション・ロボットが開発され、高頻度で高強度のトレーニングの実施が可能であるとの研究報告が出されています。当院では、2種類の歩行練習支援ロボット、ロボットスーツHAL® (Hybrid Assistive Limb®) と歩行練習アシスト (GEAR：Gait Exercise Assist Robot) を導入し、効果の検証を行っています。



富山県発達障害者支援センター 「ほっぷ」

富山県発達障害者支援センターは平成28年4月から従来の「あおぞら」、「ありそ」の2センター体制を一元化し、「ほっぷ」として新たな体制でスタートしました。ライフステージ全般をカバーしつつ、地域の支援体制強化を主軸として支援を展開しています。

今後も、「身近な地域で相談支援が受けられる体制づくり」をスローガンに掲げ、地域へ出向き「普及啓発」「人材育成」に努め、「つなぐ相談支援」を通じて県内の支援ネットワークづくりを推進してまいります。



研究企画課・リハビリ工学科

福祉機器が安心して使えるように。もっと役に立つにはどうしたらいいのか。研究企画課・リハビリ工学科では、このようなことに取り組んでいます。車いすやナースコールボタンを何種類も準備し、不自由な方もあたりまえにできるようにお手伝いをしています。

病院の外来診療

診療時間について

◎受付時間　（午前）　8時30分から11時00分まで　　（午後）13時00分から15時00分まで
◎診療時間　　　　　　9時00分から17時00分まで

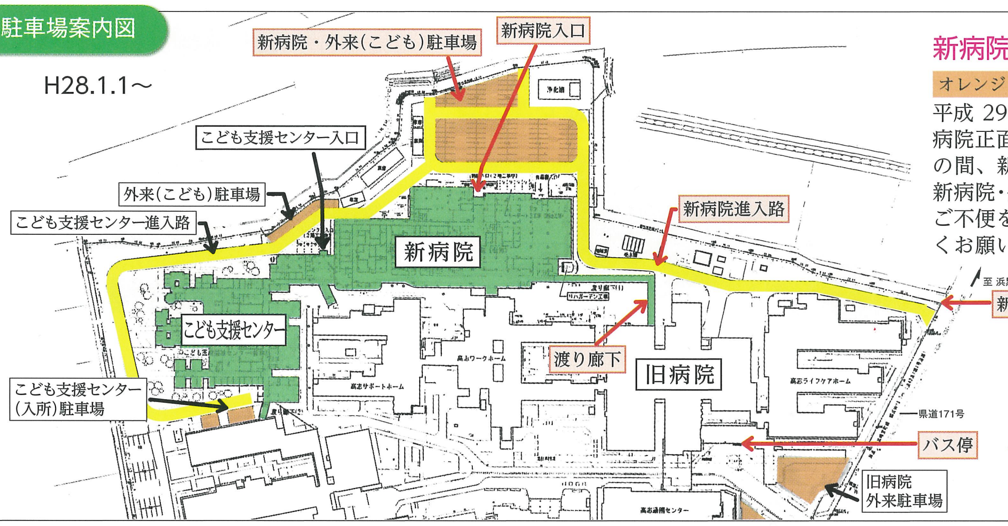
診療科について

診療科	診察室	月曜日 午前	月曜日 午後	火曜日 午前	火曜日 午後	水曜日 午前	水曜日 午後	木曜日 午前	木曜日 午後	金曜日 午前	金曜日 午後
内科	7	加藤		木倉		加藤		木倉		木倉	
	12			臼田				臼田②④			
	4			泉				中谷（循内）		泉	
神経内科	6	井上	井上			井上	井上	小西	井上		
	8		平尾	平尾	平尾					平尾	平尾
整形外科（リウマチ外来）（手足の外科外来）	1	橋本		橋本				橋本		橋本	
	2	髙田	髙田（リウマチ）	岡本		髙田		髙田		岡本	
	4									樋口	
リハビリテーション科	3	吉野		坂本		野村		吉野		浦田	
脳神経外科	1						柴田				
泌尿器科	11					交代制	交代制	岡田	岡田		
精神科	7						倉知①③		野原②④		
皮膚科	4						大石				
眼科	13										矢合②④
耳鼻咽喉科	12				浅井				麻生		
歯科	14	小倉	小倉	小倉	小倉	小倉	小倉	小倉	小倉	小倉	小倉
義肢・装具外来	1								交代制		
パーキンソン病外来	6				井上①③						
脳波外来	6										井上
嚥下外来	12					木倉隔週					
糖尿病外来	7					加藤					
小児整形外科	6	森下	森下＊	森下		森下		森下	森下①④		
	3	峰松	峰松＊			峰松		野村		峰松	峰松
小児科（小児神経科）	2	本郷	本間	本郷	本郷	本間	本間	本郷	本郷隔週	本郷＊	本間
	3			山谷隔月③	山谷						
	4	倉本	倉本＊	松澤	松澤	倉本		松澤	松澤	倉本	倉本
	5	宮森	宮森			宮森		山谷①		宮森＊	宮森
てんかん外来	2	本郷		本郷	本郷			本郷	本郷隔週	本郷	
子どもの心の外来（精神科）	5			永井	永井						

＊は、リハ前診察となる週があります。○数字は、第○曜日

＜専門外来＞
嚥下外来、糖尿病外来、パーキンソン病外来、脳波外来、リウマチ外来、手足の外科外来、シーティングクリニック外来、てんかん外来、子どもの心の外来

駐車場案内図



新病院開院後の駐車場の利用について

オレンジの部分の駐車場をご利用いただけます。平成29年4月のグランドオープンに向け、新病院正面に駐車場を整備いたします。それまでの間、新病院進入口より新病院進入路を通り、新病院・外来（こども）駐車場をご利用ください。ご不便をおかけしますがご理解のほど、よろしくお願いいたします。

旧病院正面玄関前にのみ停車します。バスでお越しの際は旧病院内を通り、新病院への渡り廊下をご利用ください。

交通アクセス

■あいの風とやま鉄道線東富山駅下車、東富山駅口より地鉄バス
東富山駅口より地鉄バス→リハビリセンター行乗車、終点下車

■北陸自動車道
金沢方面＝富山西ICより国道8号線方面へ向かい、本郷西交差点右折、国道8号線新屋交差点左折
新潟方面＝滑川ICより国道8号線方面へ向かい、稲泉交差点左折、国道8号線新屋交差点右折

■富山駅南口バスターミナルより地鉄バス（所要時間約30分）　リハビリセンター行 乗車、終点下車

富山地方鉄道 路線バス時刻表　平成28年4月1日現在

平日（月～金曜日）ダイヤ

リハビリセンター行き（下赤江・豊若町・済生会病院経由）		中央病院行き（下赤江・富山駅前経由）	
富山駅前	県リハビリセンタ着	県リハビリセンタ発	富山駅前
8:00	8:28	9:07	9:40
9:15	9:46	10:07	10:40
10:55	11:26	11:37	12:05
12:25	12:56	13:07	13:35
13:55	14:26	14:37	15:05
15:55	16:26	16:57	17:25
17:25	17:56	18:20	18:50

土曜・日曜・祝日（8月14日～16日）（12月30日～1月3日）ダイヤ

リハビリセンター行き（下赤江・豊若町・済生会病院経由）		中央病院行き（下赤江・富山駅前経由）	
富山駅前	県リハビリセンタ着	県リハビリセンタ発	富山駅前
8:10	8:38	9:32	9:58
9:30	9:58	10:17	10:44
11:30	12:01	12:07	12:36
12:30	13:01	13:07	13:36
14:30	15:01	15:07	15:36
16:20	16:51	17:07	17:36

問い合わせ先
富山県リハビリテーション病院・こども支援センター
TEL（076）438-2233（代）

あとがき

新病院も2年目を迎えました。来年度は、いよいよグランドオープンを控えています。『リハビリ病院にもっと、しんきん感♡あんしん感』をテーマに、広報にも力を入れていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。